

明治期曹洞宗における出版書の研究

川 口 高 風

明治期における曹洞宗関係の出版状況をみるため、筆者は『曹洞宗全書』年表（昭和四十八年十月覆刻　曹洞宗全書刊行会）、『新禪籍目録』（昭和三十七年六月　駒沢大学図書館）『国立国会図書館所蔵明治期刊行図書目録』第一巻（昭和四十六年三月　国立国会図書館）及び高市慶雄『明治文献目録』（昭和七年三月　日本評論社）、三橋猛雄『明治前期思想史文献』（昭和五十一年七月　明治堂書店）などの文献目録と筆者所蔵の出版書などから本稿を執筆した。しかし、筆者未見の著作もあるため脱漏や誤記もあるが、ここに試論として発表し、今後補訂していく考え方である。

明治期曹洞宗を見る場合、視点により時代区分を行って考察すると理解し易い。しかし、必ずしも等区分した年数では配し難いものである。例えば、教団の行政に視点を置くなら

明治期曹洞宗における出版書の研究（川口）

横 関 説	芳 川 説
混沌期（明治元年—四年）	政教混滌時代（明治五年—八年）
両山協調期（同五年—二十四年）	随意説教時代（同八年—十七年）
両山乖離期（同二十五年—二十七年）	教会制度時代（同十七年—二十二年）
革正期（同二十八年—三十四年）	受戒中心時代（同二十三年—三十五年）
整備期（同三十五年—四十五年）	

ば、横関了胤氏が「明治時代の曹洞宗」（「現代仏教」第一〇五号　昭和八年七月　現代仏教社）において発表された区分があり、教化の変遷を中心に設定するならば、芳川雄悟『洞上布教の小沿革』（明治三十五年十月　鴻盟社）において発表された区分が便利である。それを対照してみると、

となり、明治期の新制度が確立されていく時代と民衆教化を中心として考えていく場合とは異なっている。異なる立場からみるため、当然異なった区分となるが、その区分は、各自の意味がある。さらに、曹洞宗に限らず仏教界全体からみた区分となると、高楠順次郎氏が「明治仏教の大勢」（「現代仏教」第一〇五号）において、

明治元年—十年

〔著者〕

このように、視点によって明治仏教を分類することはできるが、ここに筆者は、試的に曹洞宗関係の出版状況を十年毎に分けて、主要な著者や出版社（人）などをながめてみると、

仏教迫害時代（明治元年—十年）

仏教の陣容整備時代（同十一年—三十年）

仏教の教学完備時代（同三十一年—四十五年）

と分けている。また、仏教界全体の研究文献資料からは、徳重浅吉氏が「明治仏教研究資料論」（「宗教研究」新第十卷第一号 昭和八年一月）において区分されている。それを要略すると、

第一期（明治元年—七、八年）

第二期（同七、八年—十七、八年）

第三期（同十七、八年—三十五、六年）

第四期（同三十七、八年—大正五、六年）

と分けられ、第一期は、仏教の護法に関する著作が中心である。第二期は仏教学復興時代、第三期は仏教学発展時代、第四期は明治仏教文化の完成期であったとされている。

明治十一年—二十年

〔著者〕

古田梵仙、笠間龍跳、翼龍堂、栖川興巖、長善玄朗、大内青巒、能仁義道、大溪雪巖、山腰天鏡、原坦山、野々部至遊、林古芳、西有穆山、木村文明、山田大応、辻顕高、吉田義山、滝断泥、宝山梵成、寺島得一、町元空

〔出版社〕

森江佐七、神先宗八、栗田東平、曹洞宗務局、文光堂、出雲寺文次郎、鴻盟社、其中堂、松屋書店、仏仙社、積善社

巖松堂

明治二十一年—三十年

〔著者〕

高田道見、鶴銅常樹、足立普明、大道長安、大内青鸞、山田孝道、丹羽仏鑑、久田龍峰、折居光輪、古知知常、福山黙童、金山貫苗、安達達淳、鳥尾得庵、加藤咄堂、大辻是山、村上泰音、丹靈源、麻蒔舌渓、西有穆山、岡田泰明、白鳥鼎三、菊池大仙、森田悟由、横井見明、滝谷琢宗、霖玉仙、岸和田一雄、阿川断泥、水野靈牛、忽滑谷快天、今川勇禪、横井見明、木田韜光

〔出版社〕

国母社、日新社、宗粹社、曹洞宗務局、鴻盟社、秀英舎、顕道書院、尊皇奉仏大同団本部、洪雨軒、明教社、経世書院、古香書院、哲学書院、如是社、益友社、光融館、永平寺東京出張所、總持寺東京出張所

明治三十一年—四十年

〔著者〕

松崎覚本、来馬琢道、芳川雄悟、五十嵐絶聖、佐々木珍龍

明治期曹洞宗における出版書の研究（川口）

森田悟由、石川素童、畔上模仙、丘宗潭、木津無庵、弘津説三、木田餘鶴仙、秋野孝道、梶川乾堂、鷺尾順敬、伊藤俊道、武田泰道、水野梅曉、鈴木天山、竺山默禪、峰玄光境野黄洋、久内大賢、紫安常応、新井石禪、佐藤鉄額、秋山悟庵

〔出版社〕

森江書店、其中堂、光融館、国母社、鴻盟社、通俗仏教館博文館、曹洞宗務局文書課、同教学部、文明堂、顕道書院井冽堂

明治四十一年—四十五年

〔著者〕

松浦百英、孤峰智璲、神谷篤倫、五十嵐絶聖、陸鉢巖、荒木礪天、細川道契、弘津説三、岡田宜法、横尾賢宗、秋野孝道、竺山默禪、北野元峰、岸沢惟安、浅野斧山、高橋定坦

〔出版社〕

井冽堂、宝文館、東亞堂書房、丙午出版社、博文館、一喝社、大日本薰風会、図書刊行会

となり、その結果、筆者は次のような区分ができるものと考

えた。

第一期は明治元年から八年頃で、原坦山が仏教を医学的に細かく研究する西洋の研究方法を取り入れて著わした『心性実験論』の刊行や大内青巒によつて仏教雑誌の刊行が始まられた。また、神仏合併の大教院の成立によつて、三条の教則やそれを敷衍するための十一兼題の解説書なども出始めた。さらに、江戸後期の宗乗家の提唱著語も随徒らによつて刊行されている。

第二期は明治九年より十九年頃となる。この間の初期は、教導職の十一及び十七兼題に関する解説書が出された後、聞解、首書傍訓、増冠傍註、校訂などが付され、宗典の語や出典、故事などを書き加えたものが多くみられる。また、折本装の經典なども刊行されており、曹洞宗大学林の教師であった古田梵仙、翼龍童、辻顯高、吉田義山などによつて大学林、中学林のテキストである黄表紙本などが出版書の中心であつた。しかし、後期になると両祖の伝記や禪学の研究書、入門書なども刊行されるようになつた。

第三期は明治二十年より二十九年頃迄で、特に『修証義』の説教例や説教に関するものが多く刊行されるようになつた。また、永平寺、總持寺両大本山の分離に関する両本山派

の雑誌や新聞、著作もみられるようになり、その代表が安達達淳の『能山曹洞革新論』であつた。なお、この頃から国母社などを始め洋装の活版本が盛んに刊行されており、先の区分時代と同じように増冠、傍註本、冠註本などが何度も出版されているのである。

第四期は明治三十年より四十五年迄で、高田道見や加藤咄堂らによる宗門教化に関する著作が多くなつた。また、先の刊行本の後刷といわれる再刊本が多くみられ、光融館、国母社、鴻盟社、森江書店、其中堂、井冽堂などが出版社の中心で、宗学に関する研究書も刊行されるようになつた。

以上、明治期曹洞宗の出版状況の概略をながめてきたが、その時代区分は徳重浅吉氏の文献資料中心の区分と相似しているが、曹洞宗のみに関してみると、筆者の区分した第一期（明治元年—八年）、第二期（明治九年—十九年）、第三期（明治二十年—二十九年）、第四期（明治三十年—四十五年）となるようである。当時の政府による仏教界の新制度成立の過程に歩調を合わせながら出版書は変遷しており、教化と宗学の研究が時代を経るにつれて、高度な研究書となつていったものと思われる。特に研究書は、大学林などのテキストであつた校訂、傍註、冠註本などから西洋研究方法を取り

入れて進んでおり、禅学の専門研究書の出版されていった過程が明らかになるのである。

凡例

一、著者、著作、出版社の順にあげた。著者の著は略したが、その他の編、註、校、訂、述、和解、訓點、纂解、補註、稿、訳述などは入れた。

一、筆者未確認の刊行月不詳の著作は、同年の末尾にまとめた。

一、新聞、雑誌は「」で示した。

明治二年九月	原坦山『時得抄』(学要社)
三年	『曹洞宗原問対』
四年	甘雨為霖『三教辨惑・斎筵普説』 (龍台院)
五年二月	大内青巒『駁尼古来問答』
六年二月	翠山『永平仮名法語』

九年二月	大内青巒『妙法蓮華經如來壽量品』 偈(訓點)
六年一月	大内青巒『共存雜誌』
八年一月	大内青巒『報四叢談』(報四社)
四年四月	曹洞宗本山『三条略(辨)解』(曹洞宗本山藏版)

十 年			
五 月	三 月	十 月	三 月
面山瑞方『信施論』（森江佐七）	笠間龍跳『曹洞宗問題十説略解』（愛知曹洞宗中教院）	長善玄朗述『教導基本問題十説』（神先宗八）	量品（訓点）
鳥尾得庵『慧眼』（明教社）	『証道歌』（永田調兵衛）	栖川興巖『隨喜称名成仏決義三昧儀』（栖川興巖）	栖川興巖『仏說毘沙門天王功德經（訓点）』
『信心銘』（永田調兵衛）	『冠鼇首書坐禪儀』（永田調兵衛）	大溪雪巖校『般若心經止啼錢』（森江佐七）	大溪雪巖校『般若心經止啼錢』（森江佐七）
『衆寮箴規』	『冠鼇禪四部錄』（永田調兵衛）	長善玄朗述『教導基本問題十説』（神先宗八）	長善玄朗述『教導基本問題十説』（神先宗八）

十 一 年			
八 月	七 月	二 月	七 月
笠間龍跳編『首書冠註仏遺教經指南』（金地院）	『洞山大師學要』（森江書店）	『貞山宗恒編達摩大師講式』（鉄舟寺）	古田梵仙註『鼇頭學道用心集』（森江佐七）
斧山玄鈿編『寶慶記聞解』（森江佐七）	長善玄朗『基本問題十説』（陽松庵）	長善玄朗『基本問題十説』（陽松庵）	『首書冠註仏遺教經指南』（金地院）
笠間龍跳『妙法蓮華經如來壽量品』（笠間龍跳）	笠間龍跳『妙法蓮華經如來壽量品』（笠間龍跳）	笠間龍跳『妙法蓮華經如來壽量品』（笠間龍跳）	古田梵仙註『鼇頭學道用心集』（森江佐七）
笠間龍跳編『傍訓寶慶記』（江崎）			

十二年 三月	九月
	接航)
木村文明『永平高祖行状摘要』(宮城曹洞宗中教院)	
能仁義道編『宝慶記摘葉集』(神先宗八)	
大内青巒編『豆熱海誌』(真誠社)	
曹洞宗務局『曹洞教会会衆日課誦經』	
石蘭校『觀音懺法』(栗田東平)	
長善玄朗編『教導基本問題十說翼』(無為庵)	
『釐頭學道用心集』(栗田東平)	
辻顯高編『日課經呪並式』(森江佐七)	
等撰道註『釐頭証道歌』(慶雲堂)	
村山半牧『良寛禪師歌集』(小林二郎)	
辻顯高『曹洞教会説教大意并指	

十二年 十月	五月
	南』第一編 (森江佐七)
白鳥鼎三『光明藏三昧』(文光堂)	
翼龍童編『首書傍解普勸坐禪儀・坐禪箴不能語』(森江佐七)	
古田梵仙『宗門十規論』(森江佐七)	
古田梵仙註『頭書曹洞二師錄』(森江佐七)	
『普勸坐禪儀不能語』(出雲寺文治郎)	
山川九一郎『學道用心集』(森江佐七)	
辻顯高『曹洞教会説教大意并指	
南』第二編 (森江佐七)	
大崎行智『教場要論』(森江書店)	
古田梵仙註『頭書曹山本寂禪師語錄』(森江佐七)	

明治期曹洞宗における出版書の研究（川口）

十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月
能仁義道注『能仁義道注』(能仁義道)	能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	古田梵仙注『增註証道歌直截』(文光堂)	古田梵仙注『正法眼藏弁註』(永平寺)	大渙雪巖校『正法眼藏弁註』(永平寺)	翼龍童注『永平初祖家訓』(森江佐七)	古田梵仙注『冠註拈評三百則不能語』(文光堂・松屋書店)	不能語』(文光堂)
能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	古田梵仙注『增註証道歌直截』(文光堂)	古田梵仙注『正法眼藏弁註』(永平寺)	大渙雪巖校『正法眼藏弁註』(永平寺)	翼龍童注『永平初祖家訓』(森江佐七)	古田梵仙注『冠註拈評三百則不能語』(文光堂・松屋書店)	不能語』(文光堂)
能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	古田梵仙注『增註証道歌直截』(文光堂)	古田梵仙注『正法眼藏弁註』(永平寺)	大渙雪巖校『正法眼藏弁註』(永平寺)	翼龍童注『永平初祖家訓』(森江佐七)	古田梵仙注『冠註拈評三百則不能語』(文光堂・松屋書店)	不能語』(文光堂)
能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	能仁義道注『僧訓日記尋枝錄』(能仁義道)	古田梵仙注『增註証道歌直截』(文光堂)	古田梵仙注『正法眼藏弁註』(永平寺)	大渙雪巖校『正法眼藏弁註』(永平寺)	翼龍童注『永平初祖家訓』(森江佐七)	古田梵仙注『冠註拈評三百則不能語』(文光堂・松屋書店)	不能語』(文光堂)

							十五年
五	四	三	二	一	月	月	月
月	月	月	月	月	月	月	月
古田梵仙『標註傍解吉祥山永平寺語』(協信社)	原坦山『心性実驗録』(学要社)	笠間龍跳編『承陽大師傘松道詠集講述』(文光堂)	大内青巒『仏教演説集誌』	宝山梵成『説教落草談』(柳枝軒)	『螺蛤老人落草談』(山本天桂)	能仁義道註『僧訓日紀尋枝錄』(出雲寺文次郎)	『供養參』(山本天桂)
梅村翠山校『永平開山道元和尚仮名法語』(協信社)	原坦山『時得抄』(学要社)	『改正歎仏洞上唱礼法』(高橋宇助)					十二月 野々部至遊『増註信施論』(其中堂)

十六年	三月	八月	七月	六月
狩野逸郎『永平初祖学道用心集辨註』（金沢泰山・森海巖・土蔵宗法・	原坦山『起信論要義七門』（能仁雲外）	斧山玄鈐編『宏智禪師偈頌断壁聞解』（森江佐七）	村上泰音『梅崖芳話』（村上泰音）	片岡賢三校『冠註永平元禪師清規』（出雲寺文治郎）
古田梵仙註『傍 ^註 普勸坐禪儀・坐禪箴不能語』（梶田勘助）	佐々木一平校『天童正覺和尚偈頌箴銘記聞解』（森江佐七）	斧山玄鈐編『曹洞二師錄聞解』（森江佐七）	鳥尾小弥太『無量寿經論』（競錦堂）	原坦山點評『無量壽經論』（競錦堂）

七 月	六 月	五 月	四 月			
山腰天鏡訂『大智禪師偈頌辨解』	原坦山『十六鐘鳴』（森江佐七） 『重正大布薩講式』（其中堂）	小坂井市太郎『一顆璞珠珊瑚禪話』 （鴻盟社）	葦繁育道校『從容錄辨解』（森江商店）	大内青鑑編『枳門事物紀原』初編 （森江佐七）	山腰天鏡校『冠註永平元禪師清規』 （金沢泰山）	狩野逸郎『永平初祖學道用心集辨註』（金沢泰山）

		十一 月	十 月	九 月	八 月	
山腰天鏡訂『大智禪師偈頌辨解』	金田東禪『緇素詩偈聯語集』（松屋書店） 『信心銘拈提』（大本山總持寺）	真川超玄『前總持川僧濟禪師遺錄』（一雲齋）	禪山『重正歎仏会法式』（其中堂） 面山瑞方『大施餓鬼甘露門』（其中堂）	林古芳編『仏教演説金言集』（森江書店）	野々部至遊編『説教贊題溫故集』初編（其中堂）	天桂伝尊『法華要解風調記』（模林堂）

十七年

一月

林古芳校『碧巖集方語解』（森江
佐七）
『正大布薩講式』（其中堂）

玄樓奥龍『般若心經闡註伝』（長
木栄治郎）
林古芳注『冠註傍解參同契寶鏡三
昧不能語』（森江佐七）
『道了薩埵日課經』（上村清左衛
門）
林古芳註『標註永平元和尚頌古』
(森江書店)

足立普明『群鶴一鶴』（其中堂）
大内青巒・広井瑞等編『學術宗教
青巒居士演説集』第一編（鴻盟社）
古田梵仙注『増冠傍註』（鴻盟社）
規』（森江佐七）

十四月

三月

十月

原坦山『鶴巢集』（仏仙社）
実観述・大内青巒校『仏道初步』
(鴻盟社)

十八年

一月

十一月

十一月

大内青巒編『統日本高僧伝』（鴻
盟社）
笠間龍跳訳『竹窓隨筆和解』（名
古屋照心会）

大内青巒『日本仏教史略』上卷
(鴻盟社)

大内青巒編『曹洞宗兩祖伝略』（鴻
盟社）

渡会定孝編『日本洞上聯燈抜録』
(渡会定孝)
西有穆山編『學道用心集講筵据拾
聞解』
志摩道人編『禪海沙金集』
『達摩講式』（鴻盟社）

大内青巒『枳門哲學叢誌』（鴻盟
社）

原坦山『標註大乘起信論兩訳勝
（鴻盟社）

十九 月	八 月	六 月	三 月	二 月
栖川興巖『闢邪復正論傍書』（遠 社）	大内青縪編『熱海独案内』（鴻盟 社）	大内青縪校『正法眼藏』（鴻盟社） 山田大応注『増註六祖壇經』（文 光堂）	木村文明『永平高祖行状摘要』（靜 雲堂）	義』（仏仙社）

十一 月
藤平左衛門・出雲寺文三郎 古田梵仙註『増冠註宝慶記』（森江 佐七） 『宝慶記』（出雲寺文次郎・小川 多左衛門） 『瑩山和尚伝光錄』（出雲寺文三 郎） 辻顕高『參同契宝鏡三昧纂解』（鴻 盟社） 『坐禪用心記不能語』（出雲寺文 次郎） 大内青縪編『天桂伝尊禪師略伝』 （鴻盟社） 松本大典編『賀偈軌範』（其中堂） 風外本高訓點『便吟証道歌』 白鳥鼎三校『觀音懺法』（其中堂） 古田梵仙註『増冠註護法論』（出雲 寺文三郎）

十九年一月

一 月	古田梵仙注『增冠註解 參同契寶鏡三昧』（出雲寺文次郎）
二 月	恒川白龍『參同契・寶鏡三昧異譖』（森江佐七）
三 月	片岡賢三註『增冠註解 永平初祖學道用心集』（出雲寺文次郎）
	恒川編・林古芳校訂『寶鏡三昧薰蕕談』（撰善会）
	恒川講錄・西有穆山訓點・林古芳校訂『參同契薰蕕談』（撰善会）
	陸越巖注『冠註普勸坐禪儀坐禪用心記』（鴻盟社）
五 月	玉林祖音編『止啼金』（出雲寺文次郎）
	滄断泥『參同契寶鏡三昧解』（森江佐七）
	大賢鳳樹『參同契寶鏡三昧洞山五位提唱略錄』（鴻盟社）
	大內青巒注『冠註孝論』（鴻盟社）
	道坦編『弘祖正伝禪戒鈔』（梶田

勘助

大内青巒『因明入正理論科註校本』(鴻盟社)

古田梵仙注『增冠宏智禪師頌古』

古田梵仙注『信心銘夜塘水』（鴻

大內青巒『鼈頭六合釡講義』（鴻

吉田義山注『間註坐禪用心記』(出

雲寺文次郎
告田義山編『普動坐禪義』(出雲)

寺文次郎

玉林祖音編『上帝金』(巖松堂)

佐七

本』（鴻盟社）

王東台集

迂顯高纂解·大內青鑑註『冠註參

二十一年一月

- 同契・宝鏡三昧纂解』（積善社）
 辻顯高纂解・東惠仁註『増冠參同契・宝鏡三昧纂解』（小川多左衛門）
 辻顯高纂解・櫛笥日光註『増冠間註參同契・宝鏡三昧纂解』（出雲寺文次郎）
 古田梵仙註『從容錄』（矢野平兵衛）
 東惠奘『參同契・宝鏡三昧撮要鈔』（小川多左衛門）
 輕部彥勇註『鼈頭隆蘭溪禪師注心經』（鴻盟社）
 伊東洋一郎『仏教高僧品評』（伊東洋一郎）
 吉岡信行『參同契・宝鏡三昧初和解』（千鐘房）
 吉田義山『首書螢山伝光錄』（出雲寺文次郎）

四月

- 笠間龍跳校正・清水珊瑚編『首書螢山和尚伝光錄』（文光堂）
 曹洞扶宗会『洞上在家修証義』
 古田梵仙註『增冠仏祖三經指南』（文光堂）
 吉田義山注『增冠坐禪用心記』（出雲寺文次郎）
 吉田義山編『頭書普勸坐禪儀・坐禪用心記』（小川多左衛門）
 小関泰法・佐々木珍龍訂『西國十三所御詠歌仮名鈔』（其中堂）
 町元呑空『永平大清規弁解』（出雲寺文次郎）

六月

- 笠間龍跳注『金剛經略疏』（文光堂）
 寺島得一注『首書傍註參同契宝鏡三昧』（森江佐七）
 町元呑空編『補註永平元禪師清規』（森江書店）

七月

八月

- 寺島得一注『首書傍註參同契宝鏡三昧』（森江佐七）
 町元呑空編『補註永平元禪師清規』（森江書店）

九月

十月

- 寺島得一注『首書傍註參同契宝鏡三昧』（森江佐七）
 町元呑空編『補註永平元禪師清規』（森江書店）

十一月

林古芳『標註碧巖錄』

町元空空註『冠註』傍解隆蘭溪禪師注心經(出雲寺文次郎・森江佐七)

辻顯高纂解・寺島得一註『首書』傍訓参同契寶鏡三昧纂解(森江佐七)

木村文明補註『仏遺教經論疏節要』(知誘活版所)

木村文明『參同契・寶鏡三昧便蒙』(木村文明)

木村文明註『註永平清規典座教訓』

山本天柱編『哲學禪門秘訣』(沢田和平)

林古芳編『經世鬼淚談』(淡月堂)

高田道見『般若の功徳』(国母社)
大内青巒『洞上在家修証義』(曹洞扶宗会)

寺島得一註『鼈頭箋註伝光錄』(森

二十一年

三月
二月
一月

江佐七

鵜飼常樹校『首書』普勸坐禅儀・坐

禪用心記』(梶田勘助)

豊國義孝編大内青巒評『仏教簡易修身書』(豊國義孝)

今村金治郎編『三家演説』(鴻盟社)

町元空空注『増冠註』信心銘夜塘水

榎原義山『承陽和讚』(村瀬元嶺)
足立普明『足立普明意見書』(其同志書房)

栖川興嚴『聖道安心立命真訣』
安藤瓊巒『実性頓入夢覺鈔圖解』(中堂)

白鳥鼎三『宏智禪師頌古接齋錄』(文光堂)

大内青巒校『冠註但含論頌詠疏校本』(鴻盟社)

明治期曹洞宗における出版書の研究（川口）

				二十二年
				一月
				二月
				三月
				五月
『必携素詩偈聯語集』（矢野平兵衛）	笠間龍跳和解『蓮池餘香』（名古屋照心会出版局）	伊藤俊道編『説教階梯』初編（宝文軒）	『新年の仏法』（福島同和会）	大道長安『救世之光』（新潟県救世会本院）
『洞上行持軌範』（曹洞宗務局）	高田道見校『正法眼藏辨道話』（東京仏教青年会）	山田孝道『曹洞宗大会議建議草案』（山田孝道）	鈴木正三『万民徳用』（守永弥六）	小沢吉行『尊皇奉仏大同団』（其中堂）
金山貫苗『曹洞宗時事小言』（出雲寺文次郎）	笠間龍跳注『大乘起信論義記』（森江佐七）	山田孝道『曹洞宗大会議建議草案』（山田孝道）	鈴木正三『破吉利支丹』（須原屋町元香空・大矢鄧嶺校『仏門真理要録』（仏学書院）	大内青巒編『仏教大意三世因果章』（大内青巒）
『茂林寺宝物由来記』（川島作次郎）	鈴木正三『校正新刻麓草分』（守事務取扱所）	『仏戒落草』（村上泰音）	大内青巒・白鳥勵芳記『三宝三帰について』（慈恵社）	大内青巒述・白鳥勵芳記『三宝三帰について』（慈恵社）
『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）

				二十三年
				十一月
				十二月
				一月
				二月
				三月
				四月
『洞上行持軌範』（曹洞宗務局）	金山貫苗『曹洞宗時事小言』（出雲寺文次郎）	鈴木正三『破吉利支丹』（須原屋町元香空・大矢鄧嶺校『仏門真理要録』（仏学書院）	大内青巒・白鳥勵芳記『三宝三帰について』（慈恵社）	大内青巒述・白鳥勵芳記『三宝三帰について』（慈恵社）
『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）	『尊皇奉仏論』（大同団事務取扱所）

四月	九月	十一月	十二月
永弥六 足立普明・遠藤仏眼等「第一義」 (宗粹社)	高田道見「教海」(日新社) 西有穆山「洞上信徒安心訣」 笠間龍跳述「般若心經平談」(文光堂)	晴瀬漁郎「老妖僧」(日進堂) 『曹洞教會修証義』(曹洞宗務局) 曹洞宗務局學務課編『正法眼藏』 道心卷・三時業卷・帰依三宝卷 (森江佐七・今村金治郎)	宝山梵成『校正纂註少室六門』(森江佐七) 風外本高『碧巖錄耳林鈔』(鴻盟社) 丹羽仏鑑・原大泉編、辻顕高校 『曹源一滴』(森江書店)
			久田龍峰『明治校訂洞上行持回向宣疏文』 (矢野平兵衛)

二十四年

二月	一月	十二月
今村金治郎編『洞上在家礼誦式』 (鴻盟社)	曹洞宗務局編『曹洞宗務局布達全書』(曹洞宗務局) 蘆津実全『日本国実新論』(柳枝軒)	鉢木正三『麓草分』(須原屋茂兵衛)
折居光輪校『正法眼藏聞解』(同出版所) 梅崖奕堂註・上野義明編『註二天師直指道訓』(森江佐七)	大道長安『救世教』(救世会) 曹洞宗務局學務課訂『正法眼藏仏向上事卷・行持卷』(森江佐七、今村金治郎)	大内青巒述、三島春洞記『曹洞宗教會修証義聞解』(鴻盟社) 原大泉編『施餓鬼作法一甘露門・

三 月	四 月	五 月
<p>「在家葬式法一」（森江佐七） 「洞上真報」（洞上真報社） 能仁俊巖『龍門餘瀾』（出雲寺文治郎）</p> <p>折居光輪校『正法眼藏 仏向上事卷・行持卷聞解』（森江佐七） 古知知常述、寺島得一編『曹洞教会修証義講話』（森江佐七） 「曹洞扶宗会雑誌」（曹洞宗扶宗会）</p> <p>「第一義」（宗粹社） 「活波瀾」（活波瀾社）</p> <p>象林錄『三時業』（中井徳治郎） 「曹洞宗正義」（正義社）</p> <p>福山黙童『日本曹洞宗名称考』（森江佐七） 「森江佐七」</p> <p>福山黙童『曹洞教会修証義大意』（鴻盟社）</p>	<p>「洞上真報」（洞上真報社） 能仁俊巖『龍門餘瀾』（出雲寺文治郎）</p> <p>折居光輪校『正法眼藏 仏向上事卷・行持卷聞解』（森江佐七） 古知知常述、寺島得一編『曹洞教会修証義講話』（森江佐七） 「曹洞扶宗会雑誌」（曹洞宗扶宗会）</p> <p>「第一義」（宗粹社） 「活波瀾」（活波瀾社）</p> <p>象林錄『三時業』（中井徳治郎） 「曹洞宗正義」（正義社）</p> <p>福山黙童『日本曹洞宗名称考』（森江佐七） 「森江佐七」</p> <p>福山黙童『曹洞教会修証義大意』（鴻盟社）</p>	<p>「洞上真報」（洞上真報社） 能仁俊巖『龍門餘瀾』（出雲寺文治郎）</p> <p>折居光輪校『正法眼藏 仏向上事卷・行持卷聞解』（森江佐七） 古知知常述、寺島得一編『曹洞教会修証義講話』（森江佐七） 「曹洞扶宗会雑誌」（曹洞宗扶宗会）</p> <p>「第一義」（宗粹社） 「活波瀾」（活波瀾社）</p> <p>象林錄『三時業』（中井徳治郎） 「曹洞宗正義」（正義社）</p> <p>福山黙童『日本曹洞宗名称考』（森江佐七） 「森江佐七」</p> <p>福山黙童『曹洞教会修証義大意』（鴻盟社）</p>

十一 月	十二 月	一 月
<p>金山貫苗編『懶眠餘稿』（金山貫苗） 佐分利忠義『曹洞宗宗制改良案』（佐分利忠義）</p> <p>大内青巒『尊皇奉仏論』（真宗協賛会） 村上泰音『立教大論』（日本法教独立会本部）</p> <p>安達達淳『妙明心源略鈔』（鈴木良音） 若宮道光編、古知知常訂『仏説四十二章経俗解』（若宮道光）</p> <p>原坦山『首楞嚴経講義』（華藏界万拙） 福山白麟『正法眼藏修証義対照些便』（福山白麟）</p> <p>大内青巒『新年の仏法』（顕道書院） 豊国義孝編『般若心経閻註伝』（鴻盟社）</p>	<p>金山貫苗編『懶眠餘稿』（金山貫苗） 佐分利忠義『曹洞宗宗制改良案』（佐分利忠義）</p> <p>大内青巒『尊皇奉仏論』（真宗協賛会） 村上泰音『立教大論』（日本法教独立会本部）</p> <p>安達達淳『妙明心源略鈔』（鈴木良音） 若宮道光編、古知知常訂『仏説四十二章経俗解』（若宮道光）</p> <p>原坦山『首楞嚴経講義』（華藏界万拙） 福山白麟『正法眼藏修証義対照些便』（福山白麟）</p> <p>大内青巒『新年の仏法』（顕道書院） 豊国義孝編『般若心経閻註伝』（鴻盟社）</p>	<p>金山貫苗編『懶眠餘稿』（金山貫苗） 佐分利忠義『曹洞宗宗制改良案』（佐分利忠義）</p> <p>大内青巒『尊皇奉仏論』（真宗協賛会） 村上泰音『立教大論』（日本法教独立会本部）</p> <p>安達達淳『妙明心源略鈔』（鈴木良音） 若宮道光編、古知知常訂『仏説四十二章経俗解』（若宮道光）</p> <p>原坦山『首楞嚴経講義』（華藏界万拙） 福山白麟『正法眼藏修証義対照些便』（福山白麟）</p> <p>大内青巒『新年の仏法』（顕道書院） 豊国義孝編『般若心経閻註伝』（鴻盟社）</p>

二十六年

店)

丹靈源「御國の母」（国母社）
鈴木正三『盲按杖』（大日本徳義会）

西有穆山述・西有恵觀編『安心訣』（鴻盟社）

黃泉無著『心經忘算疏』（博聞社）
大智『玉淚』（経世書院）

村上泰音『仏戒落草』

麻蒔舌渓『曹洞宗史要』（明教社）
丹靈源編『仏教文学書』第一輯（仏学院）

知空・古知知常校『註維摩詰經日講在券』（鴻盟社）

大内青巒『般若心經講要』（白雲精舎）

高田道見『通俗仏教要領』（国母社）

小林一郎編『僧良寛詩集』（精華社）

九月 八月 七月 六月 五月 三月 二月 一月

堂)

宝山梵成編『高祖承陽大師行実図絵』『太祖弘徳円明國師行実図絵』（森商店）

福山堅高・丹靈源編『三世人の行い』（曹洞扶宗社事務所）

大内青巒『承陽大師御略伝及御和讃』（加藤水月）

滝谷琢宗述『曹洞修証義筌蹄』（明教社）

高田道見『因果の枝折』（鴻盟社）

山岸安次郎『洞上高僧月旦』（古香書院）

十一月

高田道見『仏仙丹』（国母社）
大内青巒『宝鏡三昧講義』（仏教学会）

瑞穂俊童『宝鏡三昧国歌』（瑞穂俊童）

宝山梵成編『洞上伝燈講式』（森

					二十七年
六	五	四	三	二	一
月	月	月	月	月	月
井上円了『禅宗哲学序論』(哲学 書院)	原坦山『般若心經講義』(仏学院)	岡田泰明『曹洞宗問題意見書』(岡 田泰明)	高田道見『通俗仏教新聞』(仏教 新聞社)	高田道見『通俗鐘の由来』(国母 社)	白鳥鼎三稿・江崎接航等編『天籟 餘韻』(杉本喜三郎)
大内青巒述『菩提の葉』(鴻盟社)	三州白龍・円海宗瑞編『洞上宗統 復古志』(如是社)	加藤咄堂『仏家文人伝』(益友社)	菊池大仙編『摘要曹洞史略』(如	畔上楳仙述・村上泰音編『仏戒落 草』(村上泰音)	江書店)

十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
鴻雪爪『山高水長図記』(鴻雪年)	大内青巒『寿』(国母社)	高田道見『国王の恩』(国母社)	岡田泰明『曹洞宗大本山総持寺史論』(総持寺史論発行所)	川原戒淳『経行軌並信施論』(川原戒淳)	横井見明『仏教信徒の心得』(鴻盟社)	森田悟由述『軍人禪話』(曹洞宗大本山永平寺東京出張所)	大内青巒『戦争と仏教』(国母社)	「曹洞宗報」(曹洞宗報社)	高田道見『追善之心得』(国母社)	『碧巖集抄』(丹靈源)	「曹洞宗報」(丹靈源)	住田浅吉『曹洞宗紛議要略及附言』(曹洞宗能山派檀信徒同盟懇話会)	是社)

二十八年

一月

大橋勝記編『曹洞宗近状』（曹洞宗能山派檀信徒中央俱楽部）
高田道見述『彼岸の由来』（国母社）

三月

大内青巒述・丹靈源編『六波羅密』（国母社）
伊東洋一郎編『曹洞教会吉祥講朝昏課誦』（聞天書院）
鶯尾透天・古城瑠舟『曹洞教会安心問答』

五月

山田孝道「曹洞教報」（曹洞教報社）
森田悟由『洞上化導要義』
加藤咄堂『枳門作文指針』（加藤咄堂）

六月

本多祖信編『現行曹洞宗法規大全』（明教社）
杉江太禪『洞山大師五位口訣辯』（其中堂）
高田道見『仏耶問辨』（国母社）

十月

山田孝道「禅学」（光融館）
森田悟由述・石田靈峰編『普勸坐禅儀獅乳』

十一月

石田靈峰編『獅乳』（白雲精舎）
滝谷琢宗『正法眼藏顯開事考』（児島碩鳳）
為璠述・阿川断泥編『器之為璠禪師行卷』（阿川断泥）
水野靈牛『洞門二十五哲』（圯橋軒）
古城瑠舟『曹洞教会安心問答』（進教会）
山田孝道・森慶造編『校補點註禪門法語集』（光融館）

金山貫苗編『懶眠餘稿』（金山貫苗）
水野道秀『授戒の心得』
高田道見『追善の心得』（国母社）
高田道見『般若心經功德』（森江）

					二十九年
五月	四月	三月	二月	一月	
市川文雄『禪學示範』（鴻盟社） 書店 松本十郎『総持寺五十六代大道禪師功績 錄』	岸和田一雄『洞上仏事編』（曹洞 扶宗社） 乙堂喚丑・西有穆山・権田雷斧校 『正法眼藏続絃講義』（貝葉書院） 霖玉仙訓『維摩詰所說經』（小曾 根晨太郎）	大内青巒編『玉屑』（大日本仏教 青年仮事務所） 西有穆山校『永平正法眼藏私記会 本』（鴻盟社） 蘿月照巒編『総持奕堂禪師遺稿』 （土谷温斎） 山田孝道『坐禪用心記・普勸坐禪	大内青巒『仏遺教經講義』（森江 書店） 市川文雄『禪學示範』（鴻盟社） 松本十郎『総持寺五十六代大道禪師功績 錄』	福山黙童重訳『勝鬘師子吼一乘大 方便方広經』（福山黙童） 大内青巒『般若心經講義』（国母 社） 『曹洞宗修証義説教全書』（鴻盟 社） 水野靈牛『曹洞宗修証義説教講 錄』（圮橋軒） 忽滑谷快天訛述『曹洞教会修証 義』（鴻盟社） 池田良吉・多田元泰乗『曹洞宗革 弊意見書』（護法書院） 湖上太仲『冠導傍解永平初祖学道 用心集』 黒田佐市『曹洞宗基本財産処分論』	六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月
					儀講義』（光融館） 今川勇禅編『曹洞宗修証義説教例 題』（護法書院） 浅田高外『是山泰覺大和尚行狀 記』（明教社） 福山黙童重訳『勝鬘師子吼一乘大 方便方広經』（福山黙童） 大内青巒『般若心經講義』（国母 社） 『曹洞宗修証義説教全書』（鴻盟 社） 水野靈牛『曹洞宗修証義説教講 錄』（圮橋軒） 忽滑谷快天訛述『曹洞教会修証 義』（鴻盟社） 池田良吉・多田元泰乗『曹洞宗革 弊意見書』（護法書院） 湖上太仲『冠導傍解永平初祖学道 用心集』 黒田佐市『曹洞宗基本財産処分論』

三十一年二月	默室良要・西有穆山校『洞上法服格正』（今村金治郎） 鶩尾透天編『承陽大師円明國師御行状図解説』（進教会） 慧霞編・広輝釈・晦然補『曹洞五位顕訣』（鴻盟社） 『正法眼蔵』（国母社） 木田韜光『曹洞宗要問答』（国母社）	默室良要・西有穆山校『洞上法服格正』（今村金治郎） 鶩尾透天編『承陽大師円明國師御行状図解説』（進教会） 慧霞編・広輝釈・晦然補『曹洞五位顕訣』（鴻盟社） 『正法眼蔵』（国母社） 木田韜光『曹洞宗要問答』（国母社）	默室良要・西有穆山校『洞上法服格正』（今村金治郎） 鶩尾透天編『承陽大師円明國師御行状図解説』（進教会） 慧霞編・広輝釈・晦然補『曹洞五位顕訣』（鴻盟社） 『正法眼蔵』（国母社） 木田韜光『曹洞宗要問答』（国母社）	默室良要・西有穆山校『洞上法服格正』（今村金治郎） 鶩尾透天編『承陽大師円明國師御行状図解説』（進教会） 慧霞編・広輝釈・晦然補『曹洞五位顕訣』（鴻盟社） 『正法眼蔵』（国母社） 木田韜光『曹洞宗要問答』（国母社）	默室良要・西有穆山校『洞上法服格正』（今村金治郎） 鶩尾透天編『承陽大師円明國師御行状図解説』（進教会） 慧霞編・広輝釈・晦然補『曹洞五位顕訣』（鴻盟社） 『正法眼蔵』（国母社） 木田韜光『曹洞宗要問答』（国母社）
--------	---	---	---	---	---

三十一年十一月	今村金治郎編『総持開山太祖略伝』（鴻盟社） 大内青巒『禪學三要』（国母社） 『和融誌』（和融会） 塩沢觀山『道元禪師伝』（弘法窟） 『維摩經義疏』（曹洞宗務院） 町元香空『冠導永平初祖学道用心集』（鴻盟社）	今村金治郎編『総持開山太祖略伝』（鴻盟社） 大内青巒『禪學三要』（国母社） 『和融誌』（和融会） 塩沢觀山『道元禪師伝』（弘法窟） 『維摩經義疏』（曹洞宗務院） 町元香空『冠導永平初祖学道用心集』（鴻盟社）	今村金治郎編『総持開山太祖略伝』（鴻盟社） 大内青巒『禪學三要』（国母社） 『和融誌』（和融会） 塩沢觀山『道元禪師伝』（弘法窟） 『維摩經義疏』（曹洞宗務院） 町元香空『冠導永平初祖学道用心集』（鴻盟社）	今村金治郎編『総持開山太祖略伝』（鴻盟社） 大内青巒『禪學三要』（国母社） 『和融誌』（和融会） 塩沢觀山『道元禪師伝』（弘法窟） 『維摩經義疏』（曹洞宗務院） 町元香空『冠導永平初祖学道用心集』（鴻盟社）
---------	--	--	--	--

			三十二年
		五月	
	六月		
	十一月		
古田梵仙『修証義贊題通俗說教』(森江書店)	來馬琢道『通俗仏教各宗綱要』(鴻盟社)	高田道見『十善一夕話』(通俗仏教館)	高田道見復演『菩薩戒落草談』(通俗仏俗仏教館)
福山默童『或問』(丹靈源)	來馬琢道『伝道』(鴻盟社)	寺尾少林『拙堂雲烟錄』(寺尾少林)	高田道見『寒山詩講義』(光融館)
若生国栄『彼岸法話』(通俗仏教館)			高田道見『彼岸法話』(通俗仏教)
高田道見『寒山詩講義』(光融館)			引』(永平寺東京出張所)

六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
芳川雄悟『承陽大師』（鴻盟社）	佐々木珍龍『人と云ふ話』（光融義）（光融館）	加藤咄堂『孟蘭盆』（森江書店）	大内青巒『佛教大意』（鴻盟社）	大内青巒『仏教演説軌範』（通俗	大内青巒『心地観經報恩品講義』（鴻盟社）	大内青巒『大家の二説』（大日本	大内青巒『列伝体日本仏教史各宗	大内青巒『大乗仏教百話』（森江	大内青巒『皇室と仏教の関係』（鴻	五十嵐絶聖『実踐悟道のみちび	面山瑞方・徳山真宗校『金剛經講
（仏教館）	（上田書店）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（曹洞宗寺籍明細誌編纂事務所）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（光融館）	義』（光融館）
東京出張所）	畔上模仙『総持御伝抄』（大本山開祖）	野崎崎次郎『聖僧道元』（文学同志会）	山田孝道『信心銘講義』	『名家仏教演説集』統編（鴻盟社）	『名家仏教演説集』統編（鴻盟社）	高僧伝』（鴻盟社）	高僧伝』（鴻盟社）	堀口周道『信心銘夜塘水講義』（鴻	五十嵐絶聖『禅的悟道のみちび	佐々木珍龍『人と云ふ話』（光融	國母社編輯局編『禪林先哲叢談』
（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	前編（国母社）

十一月	十月	九月	八月	七月
佐々木珍龍『人と云ふ話』（光融	五十嵐絶聖『実踐悟道のみちびき』（上田書店）	大内青巒『皇室と仏教の関係』（鴻	大内青巒『大乗仏教百話』（森江	大内青巒『孟蘭盆』（森江書店）
（光融館）	（上田書店）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）
（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）
（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）	（鴻盟社）

館

中川愛水『禪學断片』(文学同志会)

森田悟由述・丹羽仏鑑編『洞上化

導要義』(永平寺東京出張所)

國府種徳『菩提達磨』(博文館)

石川素童『大本山總持寺御由来

抄』(總持寺東京出張所)

畔上楳仙『總持開祖御教義抄』(伝

光錄抜萃)』(總持寺東京出張所)

原田玄龍『耳根円通論』(藍外堂)

佐々木珍龍述『從軍実歴夢遊談』(鴻

盟社)

丘宗潭校『正法眼藏出家功德』(森江書店)

三十四年

二月

木津無庵注『維摩詰所說經』(其中堂)

大道長安『七難勿生疑』(救世教本部)

桑田衡平訳・高田道見校『道徳の

鑑』(通俗仏教館)

曹洞宗務局文書課編『曹洞宗宗制』

(鴻盟社)

鳥居法城『豊川円福山妙嚴寺鎮守

吒枳尼真天略縁起』(郁文舎書店)

『曹洞宗改定學則』(曹洞宗務局)

文書課)

弘津説三『承陽大師御伝記』

水野靈牛『西国三十三所觀音靈場

御詠歌説教』(鴻盟社)

弘津説三編『承陽大師御伝記』(鴻

盟社)

六月

五月

七月

八月

木田餘鶴仙述・水谷三鷺等記『通俗日本仏教の眞髓』(其中堂)

今村金治郎訳『勝鬘獅子吼一乘大方便方広經』(鴻盟社)

高田道見述『だんな』(通俗仏教館)

草溪社編輯局編『曹洞宗宗要講

九月	『話』（草溪社）
十月	大内青巒『皇室と仏教の関係の演説』（稻垣鈴太郎）
十一月	秋野孝道述・梶川乾堂記『正伝三昧の大意』（梶川乾堂）
十二月	大内青巒『恩海一滴』（鴻盟社）
	曹洞宗青年夏期講習会編『曹洞宗青年夏期講習会講演集』（鴻盟社）
	深山一郎編『峨山逸話』（深山一郎）
	高田道見『通俗觀音經講話』（通俗仏教館）
	鈴木春山述・大道春舸記『洞上の宗義』（竹倉鍵太郎）
	加藤咄堂『國民の教養』（通俗仏教館）
	早川賢讓『新編詩偈話法』（其中堂）
	衣笠宗元『禪門寶訓講義』（貝葉

三十五年

二月	菅原如庵『禪學通俗談』（藍外堂）
一月	大内青巒『譜曲禪話』（鴻盟社）
一月	鷺尾順敬『禪宗史要』（鴻盟社）
一月	高田道見『通俗觀音經講話』（仏教館）
一月	横井雪庵編『撰四節引導鈔並法名字選』（鴻盟社）
一月	木田餘鶴仙・水谷三鷺編『通俗日本佛教の真髓』（其中堂）
中堂	大内青巒『冠永平高祖伝略』（其中堂）
中堂	覚巖・如星訂『永平高祖傘松道詠略解』（其中堂）
出張所	高田道見『永平寺案内』（永平寺出張所）
森江書店	加藤咄堂・向仙外編『曹洞宗信者の栄』（森江書店）
柳	宝山梵成編『禪海探珠要訣集』（柳

九 月	八 月	七 月	六 月	四 月	三 月
伊藤俊道『釈迦実伝記』（森江書社）	高田道見『通仏教一席話』（通俗佛教館）	山田孝道『学道用心集講義』（光融館）	鶯尾順敬『禪宗史要』（鴻盟社）	『承陽大師・四十七義士』（国母社）	石川素童『十種疑問落草談』（総持寺出張所）

十一 月	十二 月
水野梅曉『天童小志』（仏教館） 曹洞宗務局文書課編『修証義説教大全』（光融館） 渡辺祥風『承陽大師御持帰新田義貞公護持宋李龍眠揮毫拾六大師羅漢真影縮図』（金龍寺） 加藤咄堂・大内青巒校『曹洞宗說教大全』（鴻盟社）	来馬琢道『禪學活問答』（鴻盟社） 大内青巒『普勸坐禪儀詮要』（鴻盟社） 武田泰道『叢林』（武田泰道） 芳川雄悟『洞上布教の小沿革』（鴻盟社）

- 護篇』中・下巻(国母社)
森慶造『近世禅林言行録』(金港堂)
伊藤俊道『釈迦実伝記』(森江書店)
今村金治郎編『洞上安心要義』(鴻盟社)
畔上楳仙『十種疑問落草談』(總持寺)
森脇星江『禪學無一物修行』(大學館)
木田餘鶴仙『曹洞修証義の枝折』(其中堂)
小林一郎編『僧良寛歌集』(精華堂)
早田玄洞『禪の人物鍛成』(大学館)
天原素道『參盤禪語早解』(楽只会本部)
高田道見『施餓鬼の由来』(光融

- 館)
加藤咄堂編『曹洞宗説教大全』(鴻盟社)
原僧運・斎藤道痴編『唯心禪話』(通俗仏教館)
鈴木天山『般若心經通俗談』(無等庵)
高田道見編『永平寺案内記』
雲母如星『波多野義重』(其中堂)
高田道見『四料揀講話』(通俗仏教館)
永平寺徒歩参拝会編『仏陀の慈光』(鴻盟社)
一色雲巖『教育禪學捷徑』(小谷書店)
森脇星江『參禪日記坐禪実驗談』(大學館)
藤波恒編『禪學の奥義』(文学同志社本部)
『正法眼藏』(児島碩鳳)

三十六年

七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
山田孝道『鉄槌殺活自在』(光融館)	西有穆山『洞山五位説』(鴻盟社)	西有穆山・岩上覚成記『仏祖正伝禪戒鈔講話』(鴻盟社)	若生国栄『禅学正門單刀直入』	竺山黙禪『修証義引導法語』(森江書店)	加藤咄堂編『名家仏教演説集』(森江書店)	来馬琢道「仏教文芸」

九月

十一月

西有穆山『仏祖正伝禪戒鈔講話』(鴻盟社)	小林良参『禪床夜話』(仏教社)	森田悟由・文挾広文『禪戒法話』(鴻盟社)	鴻盟社編『現行曹洞宗制規大全』(鴻盟社)	鴻盟社編『殺活禪定力』(大學館)	西有穆山『正法眼藏辨道話講義』(鴻盟社)	加藤咄堂『大乘仏教大綱』(森江書店)
----------------------	-----------------	----------------------	----------------------	------------------	----------------------	--------------------

明治期曹洞宗における出版書の研究（川口）

						三十七年
十一月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
高田道見『通仏教安心』（仏教館）	曹洞宗務局文書課	峰玄光『道元禪師伝』（文明堂）	大内青巒校訂『続日本高僧伝』	忽滑谷快天『禪學新論』	今川勇禪和訳『始祖天桂和尚年譜』（退藏峰）	高田道見・祥雲晚成編『仏教問答集』第一編（仏教館）
江書店	高田道見『乞食桃水』（仏教館）	講習院講演集』（鴻盟社）	曹洞宗教導講習院編『曹洞宗教導講習院講演集』（鴻盟社）	曹洞宗務局文書課『電影斬風』（曹洞宗務局文書課）	牛尾得明編『長通寺由来記』（森江書店）	若生国栄『通俗平易活禪談』（光融館）
						高田道見『物外和尚逸伝』（仏教館）
						若生国栄『正門單刀直入』（光融館）
						江海新潮』（鴻盟社）
						大内青巒等・今村金次郎編『修証義教』（鴻盟社）
						後藤光渕『修養禪話』（光融館）
						大内青巒『四十二章經講義』（光融館）
						峰玄光『戦時布教大全』（鴻盟社）
						加藤咄堂編『布教大鑑』（森江書店）
						丹靈源編『戦時仏教演説奉公編』（頤道書院）
						西有穆山・横井見明編『西有禅話』（鴻盟社）
						丹靈源編『戦時布教材料集』（頤道書院）
						秋野孝道『禪戒の大意』（梅檀寮）
						境野黄洋『印度仏教史綱』（森江書店）
						三十八年
五月	四月	五月	五月	五月	五月	
書店	丹靈源編『戦時仏教演説奉公編』（頤道書院）	西有穆山・横井見明編『西有禅話』（鴻盟社）	丹靈源編『戦時布教材料集』（頤道書院）	秋野孝道『禪戒の大意』（梅檀寮）	境野黄洋『印度仏教史綱』（森江書店）	

七 月	峯玄光・加藤咄堂『禪觀錄』(井 冽堂)
九 月	久内大賢『理想』(理想社)
十 月	来馬琢道編『曹洞宗授戒会戒弟の 心得』(鴻盟社)
十一 月	勿滑谷快天『禪學批判論』(鴻盟 社)
十二 月	来馬琢道『承陽大師御一代記』(鴻 盟社)
	加藤咄堂『通俗仏教要義』(井冽 堂)
	高田道見『從容錄講話』(仏教館)
	加藤咄堂『冥想論』(東亞堂)
	高田道見『正信無常觀』(仏教館)
	福山黙童校『正法眼藏品目頌並品 目述贊』(金森達五郎)
	森田悟由・大仏輔教編『軍國教 誨』(永平寺東京出張所)
	仁科衛『禪學のはなし』(すみや)

三十九年	福山白麟『正法眼藏伝衣』『正法 眼藏仏祖』『正法眼藏嗣書』『正法 眼藏自証三昧』『正法眼藏受戒』 武田泰道『増補叢林』(其中堂書 店)
二 月	大内青巒・藤井円順編『六祖法寶 壇經講義』(哲学館大学)
三 月	紫安常応編『石雲老師伝』(養源 寺)
四 月	高田道見『通俗仏教便覽』(仏教 館)
五 月	大内青巒『結制の由來』(鴻盟社)
六 月	大内青巒『通俗禪學大意』(鴻盟 社)
九 月	新井石禅述・高井宏道編『曹洞宗 要法話』(永平寺出張所)
	忽滑谷快天述『禪學講話』(井冽堂)
	来馬琢道『觀音經講義』

十一月

曹洞宗務院訂『信心銘拈提』（曹洞宗務院教学部）

曹洞宗務院訂『後醍醐天皇十種勅問』（曹洞宗務院教学部）

忽滑谷快天『禪の妙味』（井冽堂）

大内青巒『碧巖錄講話』（鴻盟社）

森田悟由・石田靈峰編『獅乳』（東京永平寺出張所）

大内青巒『普勸坐禪儀講話』（鴻盟社）

新井石禅・高井宏道編『曹洞宗要法話』（永平寺東京出張所）

忽滑谷快天『禪學講話』（井冽堂）

畔上楳仙『總持開祖御伝抄』（東京總持寺出張所）

畔上楳仙『十種疑問落草談』（鴻盟社）

四十年一月

佐藤鉄額『損翁老人見聞宝永記』

（鴻盟社）

境野黃洋『印度支那仏教史要』（鴻盟社）

大道長安述・山上誠一郎・坂戸公栄記『妙力門六大義』（横浜新仏教救世会）

原坦山・荒木礎天編『禪學心性実驗錄』（井冽堂）

大内青巒『四十二章經講義』（光融館）

境野黃洋『支那仏教史綱』（森江書店）

田中靈鑑・奥村洞麟編『日置默仙老師滿轉巡錫錄』（香野藏治）

忽滑谷快天『批判解説禪學新論』（井冽堂）

加藤咄堂・峯玄光『永平聖訓』（森江書店）

秋山悟庵『禪と武士道』（光融館）
神谷篤倫『新撰引導法語軌範』（森

二月

三月

四月

五月

七月

八月

九月

十月

		江書店 加藤咄堂等『仏教講話』(井冽堂) 畔上楳仙・織田雪巖編『坐禪用心記落草談』(東京總持寺出張所) 加藤咄堂『通俗心經講話』(井冽堂)
	十一月	『正法眼藏隨聞記』(東京永平寺出張所) 加藤咄堂『俗般若心經講話』(井冽堂) 『仏道手引草』(佐伯要治) 忽滑谷快天『禪語略解』(井冽堂) 西有穆山『三松稿』(鴻盟社) 面山瑞方『承陽大師報恩講式』(森江書店)
	十二月	高田道見・丹靈源編『通俗問答盆の由來』(光融館) 福山默童・田中慈海編『般若心經些便』(田中慈海)
四十一年	一月	北野元峰『般若心經講義』(大日本薰風会) 大道長安『觀音經講義』(光融館) 忽滑谷快天『鍊心修道參禪道話』(井冽堂) 日種讓山編『峨山禪師言行錄』(宝文館) 秋山悟庵『禪と修養』(東亞堂書房) 曹洞宗青年会編『正法眼藏辨道話講義』(鴻盟社) 大内青巒『仏教の根本思想』(井冽堂)
二月		

三月	四月	五月	六月	七月	九月
峯玄光『学道用心集提耳錄』 西有穆山編『永平初祖学道用心集提耳錄』（鴻盟社）	本田無外『道元禪師言行錄』（内外出版協会）	松浦百英『連座説教』（仏教団本部）	大内青巒『普勸坐禪儀講義』（鴻盟社）	泉物外『列伝体禪宗小史』 神谷篤倫『精神禪の要術』（森江書店）	大道長安『觀音經講義』（光融館） 陸鉄巖『陸禪話』（円通寺） 孤峰智璨『日本禪宗史要』（貝葉書院）
大内青巒『普勸坐禪儀講義』（鴻盟社）	神谷篤倫『通俗参禪の活路』（森江書店）	久喜機外述『通俗修証義』（長楽寺）	『月舟和尚遺録』（柳枝軒） 畔上楳仙『洞上太祖円明国師御伝』（博文館）	加藤咄堂・峰玄光編『鎌山聖訓』 奥羽六県曹洞宗大会編『仏法の総府』（福島奥羽六県曹洞宗大会） 五十嵐絶聖編『禅学実践悟道のみぢびき』（嵩山堂）	日置謙編『永平寺』（中村六三郎） 高田道見『通俗禪話』第一編（仏教館）
大内青巒『普勸坐禪儀講話』（鴻盟社）	松田湛堂編『名家禪學評論』（鴻盟社）	忽滑谷快天『達磨と陽明』（丙午）			

十月	十一月
梶川乾堂『俱舍論大綱』（鴻盟社） 大内青巒・峰玄光編『報國禪話』（鴻盟社）	久喜機外述『通俗修証義』（長楽寺）
『月舟和尚遺録』（柳枝軒） 畔上楳仙『洞上太祖円明国師御伝』（博文館）	加藤咄堂・峰玄光編『鎌山聖訓』 奥羽六県曹洞宗大会編『仏法の総府』（福島奥羽六県曹洞宗大会） 五十嵐絶聖編『禅学実践悟道のみぢびき』（嵩山堂）
大内青巒『普勸坐禪儀講話』（鴻盟社）	日置謙編『永平寺』（中村六三郎） 高田道見『通俗禪話』第一編（仏教館）

四十二年

四二月

五月

- | | | |
|--------------------------------|------------------------|---------------------------|
| 忽滑谷快天『清新禪話』（井冽堂） | 荒木礪天『仙術』（鴻盟社） | 糸元恭述・吉浦大達編『禪學俗語解』（海雲寺） |
| 細川道契『寒巖禪師嗣承決』（法輪社） | 原僧連『禪學早わかり』（光融館） | 岡田宜法『禪と人生』（一喝社） |
| 高田道見校『授戒説教』（仏教館） | 原田時之助『鴻山警策俗講』（仏教護国円成会） | 『大休悟由禪師小伝』（高井宏道） |
| 弘津説三編『承陽大師聖教全集』（永平寺出張所） | 横尾賢宗『普勸坐禪儀十回講話』（森江書店） | 『碧巖集・普勸坐禪儀・曹洞教会修証義』（高井宏道） |
| 諏訪鉤玄編『為霖老人語錄』（龍台院） | 岡田宜法『禪と催眠術』（啓成社） | 岡田宜法『禪學綱要』（貝葉書院） |
| 忽滑谷快天・小鹿仏海編『和漢名士參禪集』（丙午出版社） | 弘津説三等編『默応和尚遺稿集』（弘津説三） | 弘津説三編『謐常濟大師』（一喝社） |
| 新井石禅述・北越戒定・内田吟龍編『修証義説教軌範』（鴻盟社） | 峯玄光『人の宝』（鴻盟社） | 峯玄光『人の宝』（鴻盟社） |
| | 加藤咄堂『仏教の原理』（鴻盟社） | 加藤咄堂『仏教の原理』（鴻盟社） |
| | 秋山悟庵編『坦山和尚全集』（光融館） | 秋山悟庵編『坦山和尚全集』（光融館） |
| | 新井石禅『通俗曹洞禪綱要』（一喝社） | 新井石禅『通俗曹洞禪綱要』（一喝社） |
| | 大内青巒『禪學二要』（鴻盟社） | 大内青巒『禪學二要』（鴻盟社） |
| | 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁 | 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁 |

七月

八月

九月

十一月

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------------------------|
| 大内青巒『禪學二要』（鴻盟社） | 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁』（鴻盟社） | 『碧巖集・普勸坐禪儀・曹洞教会修証義』（高井宏道） |
| 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁』（鴻盟社） | 大内青巒『禪學二要』（鴻盟社） | 岡田宜法『禪と人生』（一喝社） |
| 新井石禅『通俗曹洞禪綱要』（一喝社） | 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁』（鴻盟社） | 『大休悟由禪師小伝』（高井宏道） |
| 新井石禅『通俗曹洞禪綱要』（一喝社） | 大内青巒『禪學二要』（鴻盟社） | 『碧巖集・普勸坐禪儀・曹洞教会修証義』（高井宏道） |
| | 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁』（鴻盟社） | 岡田宜法『禪と人生』（一喝社） |
| | 大内青巒『禪學二要』（鴻盟社） | 『大休悟由禪師小伝』（高井宏道） |
| | 禪昌寺編『（龍沢山）禪昌寺略縁』（鴻盟社） | 『碧巖集・普勸坐禪儀・曹洞教会修証義』（高井宏道） |

明治期曹洞宗における出版書の研究（川口）

-
- | | |
|---|---|
| <p>起』（禅昌寺）
福厳寺編『福嚴寺記』
永平寺編『永平寺概要』（東京 永平寺出張所）
岸和田一雄『洞上仏事編』（森江佐七）
神谷篤倫編『新撰引導法語軌範』
(森江書店)
無著道忠『禪林象器箋』（貝葉書院）
原坦山『鶴仙証道歌』（光融館）
川村八郎・大月隆編『人生と禅学』（東京文学同志会）
浦上隆応・添田戒光編『般若心経円通録』（円通寺）
里見常次郎『陽明と禅』（王文館）
畔上模仙『信心銘拈提落草談』（東京總持寺出張所）
木津無庵『法華經要略科解』（名古屋仏陀会）</p> | <p>川尻義祐『坐禅之捷径』（すみや書店）
町元空空編『改定評唱冠註無門関』（貝葉書院）
加藤咄堂『大乘起信論講話』（鴻盟社）
『庚戌教諭講話』（曹洞宗務院）
『庚戌教諭講話参考』（曹洞宗務院）
萬仞道坦『室中三物秘解』（一喝社）
木津無庵編『仏教世界年契』（仏陀会）
加藤咄堂『仏教講演集』（森江書店）
忽滑谷快天述『樂天生活の妙味』
(服部書店・文泉堂書店)
高田道見編『雜集部』（仏教館）
加藤咄堂等編『布教新辭典』（森</p> |
|---|---|
-

四十三年

五 月	四 月	三 月	二 月	一 月
川尻義祐『坐禅之捷径』（すみや書店） 町元空空編『改定評唱冠註無門関』（貝葉書院） 加藤咄堂『大乘起信論講話』（鴻盟社） 『庚戌教諭講話』（曹洞宗務院） 『庚戌教諭講話参考』（曹洞宗務院） 萬仞道坦『室中三物秘解』（一喝社） 木津無庵編『仏教世界年契』（仏陀会） 加藤咄堂『仏教講演集』（森江書店） 忽滑谷快天述『樂天生活の妙味』 (服部書店・文泉堂書店) 高田道見編『雜集部』（仏教館） 加藤咄堂等編『布教新辭典』（森	川尻義祐『坐禅之捷径』（すみや書店） 町元空空編『改定評唱冠註無門関』（貝葉書院） 加藤咄堂『大乘起信論講話』（鴻盟社） 『庚戌教諭講話』（曹洞宗務院） 『庚戌教諭講話参考』（曹洞宗務院） 萬仞道坦『室中三物秘解』（一喝社） 木津無庵編『仏教世界年契』（仏陀会） 加藤咄堂『仏教講演集』（森江書店） 忽滑谷快天述『樂天生活の妙味』 (服部書店・文泉堂書店) 高田道見編『雜集部』（仏教館） 加藤咄堂等編『布教新辭典』（森	川尻義祐『坐禅之捷径』（すみや書店） 町元空空編『改定評唱冠註無門関』（貝葉書院） 加藤咄堂『大乘起信論講話』（鴻盟社） 『庚戌教諭講話』（曹洞宗務院） 『庚戌教諭講話参考』（曹洞宗務院） 萬仞道坦『室中三物秘解』（一喝社） 木津無庵編『仏教世界年契』（仏陀会） 加藤咄堂『仏教講演集』（森江書店） 忽滑谷快天述『樂天生活の妙味』 (服部書店・文泉堂書店) 高田道見編『雜集部』（仏教館） 加藤咄堂等編『布教新辭典』（森	川尻義祐『坐禅之捷径』（すみや書店） 町元空空編『改定評唱冠註無門關』（貝葉書院） 加藤咄堂『大乘起信論講話』（鴻盟社） 『庚戌教諭講話』（曹洞宗務院） 『庚戌教諭講話参考』（曹洞宗務院） 萬仞道坦『室中三物秘解』（一喝社） 木津無庵編『仏教世界年契』（仏陀会） 加藤咄堂『仏教講演集』（森江書店） 忽滑谷快天述『樂天生活の妙味』 (服部書店・文泉堂書店) 高田道見編『雜集部』（仏教館） 加藤咄堂等編『布教新辭典』（森	川尻義祐『坐禅之捷径』（すみや書店） 町元空空編『改定評唱冠註無門關』（貝葉書院） 加藤咄堂『大乘起信論講話』（鴻盟社） 『庚戌教諭講話』（曹洞宗務院） 『庚戌教諭講話参考』（曹洞宗務院） 萬仞道坦『室中三物秘解』（一喝社） 木津無庵編『仏教世界年契』（仏陀会） 加藤咄堂『仏教講演集』（森江書店） 忽滑谷快天述『樂天生活の妙味』 (服部書店・文泉堂書店) 高田道見編『雜集部』（仏教館） 加藤咄堂等編『布教新辭典』（森

六月

江書店

境野黄洋『新仏教十年史』（新仏

教徒同志会）

秋野孝道『禪學五位要訣』（一喝社）

（真髓

社）

峰玄光『永平悟由禪師法話集』（鴻

盟社）

忽滑谷快天『宇宙美觀』（服部書

店・文泉堂書房）

『道元禪師伝』（興文館）

新井石禅・紹慶密応編『禪學之綱

要』（島根松陽新報社）

蘆津実全『禪學向上錄』（貝葉書

院）

森慶造『禪學一夕話』（服部書店）

加藤玄智『宗教上

より見たる釈迦牟尼仏』

（弘道館）

高田道見編『新洞上檀用回向集』

（仏教館）

四十四年

三二月

高見祖厚『寒山詩偈讚歌』

禪學雜誌編輯局『禪宗聖典』（一喝

社）

芳川祖眼『和金剛經註解』（一喝

社）

岡田宜法『禪と人生』（一喝社）

足立栗園編『高僧教訓俚語集』（森

江書店）

竺山默禪『曹洞修証義引導法語』

（森江書店）

近重真澄『參禪錄』（服部書店）

秋山悟庵『青年と禪』（文成社）

秋野孝道・寺田有全編『禪學五位要訣』（一喝社）

北野元峰『証道歌講義』（大日本

薰風会）

『辛亥教諭講話』（曹洞宗務院）

大内青巒『人道講話』（森江本店）

丹靈源編『説教演説大家常用因縁

六 月	四 月	
<p>集』（顕道書院） 加藤咄堂『文字禪』（東亞堂書房） 横井見明『源翁和尚と殺生石』（森江書店） 横井見明『穆山老師応機接物九年』（鴻盟社） 高田道見『十種勅問講話』（仏教館） 西有穆山述・岸沢惟安編『普勸坐禪儀提耳錄』（鴻盟社） 来馬琢道編『禪宗聖典』（無我山房） 忽滑谷快天『浮世莊子講話』（服部書店） 山田孝道校『禪宗曹洞聖典』（光融館） 高田道見『追善之鑑』（仏教館） 浅野斧山編『東臯全集』（一喝社） 峯玄光注『冠註曹洞教会修証義』（鴻盟社）</p>		

十一 月	十二 月	一 月	七 月
		<p>武田範之『鰲海鉤玄』（顕聖寺） 岸沢惟安訛『仏說玉耶女經』（鴻盟社） 秋野孝道『禪の話』（曹洞婦人会） 栗山泰音『嶽山史論』（鴻盟社） 境野黄洋『日本仏教小史』（鴻盟社） 大道長安・吉田修夫述『仏教の革命』（新仏教救世教本部） 浅野斧山『妙高山最勝院縁起』（一喝社） 浅野斧山『禪病論』（一喝社） 忽滑谷快天著『禪家龜鑑講話』（光融館） 梶川乾堂編『新總持』（鴻盟社） 『皇室と總持寺』（鴻盟社） 新井石禪『禪學入門』（豊文館） 新井石禪『曹洞宗宗義之大要』（和田森昶雲） 山田孝道『処世要訣修養禪話』（文</p>	

泉堂書房・服部書店)

高橋定坦編『濃州德巖惟慧和尚年譜』

(鴻盟社)

小塚仏宗『西有穆山禪師御略伝』

(鴻盟社)

松浦百英『家庭法話』(仏教館)

孤峰智璨『曹洞宗安心の栄』(森

江書店)

樺山勵本編『祥雲山龍泰寺三派一

原僧運『一味の禪』(光融館)

曹洞宗務院編『訓説一斑』(曹洞

宗務院)

加藤咄堂『筆と舌』(丙午出版社)

北野元峰『少室六門講義』(大日

本薰風会)

松本文三郎『達磨』(図書刊行会)

鳥山琢藏『壺中消息』(翠松館)

池上文僻『禪画百譚』(滑稽社)

古屋景晴『坐禅独習法』(精神研究会)

丘宗潭『仏教の真髓』(福島甲子

三)

近重真澄『物庵禪話』(文泉堂)

武田範之『円宗大諦論』(武田範

之)

秋山悟庵和訳『聖典十種』(興風

館)

杉山茂丸編『桃水禪師伝』(杉山

茂丸)

四十五年
二月

三月

『壬子教諭講話』(曹洞宗務院)
楊起元注・加藤咄堂訳『維摩詰所
說經評註』(丙午出版社)

新井石禅『般若心經講義』(仏教
講習会)

新井石禅『仏教と修養』(大森真

洞同志会)

秋野孝道『通俗曹洞宗の安心』(一

四 月	五 月	六 月	七 月	九 月
田中善立『尊皇奉仏論』（三光堂） 永平寺編『永平寺概要』（永平寺出張所） 新井石禅『通俗信心銘講話』（一喝社） 神保左一郎『大雄山鎮護妙覺道了大薩埵御縁起』（東海新報社） 新井石禅・峰玄光編『曹洞宗義大綱』（鴻盟社） 大内青巒述・石井広吉記『歴史上の人物と仏教』（仏教新報社） 田中仏心『吉峰寺再興記』（吉峰寺） 加藤咄堂『禪學觀』（東亞堂） 山田孝道『和訓點註碧巖集』	田中善立『尊皇奉仏論』（三光堂） 永平寺編『永平寺概要』（永平寺出張所） 新井石禅『通俗信心銘講話』（一喝社） 神保左一郎『大雄山鎮護妙覺道了大薩埵御縁起』（東海新報社） 新井石禅・峰玄光編『曹洞宗義大綱』（鴻盟社） 大内青巒述・石井広吉記『歴史上の人物と仏教』（仏教新報社） 田中仏心『吉峰寺再興記』（吉峰寺） 加藤咄堂『禪學觀』（東亞堂） 山田孝道『和訓點註碧巖集』	田中善立『尊皇奉仏論』（三光堂） 永平寺編『永平寺概要』（永平寺出張所） 新井石禅『通俗信心銘講話』（一喝社） 神保左一郎『大雄山鎮護妙覺道了大薩埵御縁起』（東海新報社） 新井石禅・峰玄光編『曹洞宗義大綱』（鴻盟社） 大内青巒述・石井広吉記『歴史上の人物と仏教』（仏教新報社） 田中仏心『吉峰寺再興記』（吉峰寺） 加藤咄堂『禪學觀』（東亞堂） 山田孝道『和訓點註碧巖集』	田中善立『尊皇奉仏論』（三光堂） 永平寺編『永平寺概要』（永平寺出張所） 新井石禅『通俗信心銘講話』（一喝社） 神保左一郎『大雄山鎮護妙覺道了大薩埵御縁起』（東海新報社） 新井石禅・峰玄光編『曹洞宗義大綱』（鴻盟社） 大内青巒述・石井広吉記『歴史上の人物と仏教』（仏教新報社） 田中仏心『吉峰寺再興記』（吉峰寺） 加藤咄堂『禪學觀』（東亞堂） 山田孝道『和訓點註碧巖集』	松尾茂編『道歌大観』 荻須梅信『大雄山誌』（最乗寺） 上村觀光『五山詩僧伝』（民友社）

荒井諦禪編『明治因縁大鑑』（森江書店） 峰玄光編『曹洞宗要法話』（鴻盟社） 原僧運『禪學活談』（弘學館） 萬仍道坦・丘宗潭訂『改仏祖正伝禪戒鈔』（鴻盟社） 岡本通『禪の真髓』（福岡書店） 服部静夫『坐禪と静坐』（弘學館） 乗松辰四郎編『承陽大師和讃・傘松道詠集』（乘松辰四郎） 加藤咄堂『訳維摩經評註』（丙午出版社） 新井石禅・峰玄光編『曹洞宗義大綱』（鴻盟社）
